



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

「比べる」ということ

校長 萩原 哲哉

小学生時代、新学期の始まりに、夏休みの宿題であった課題作文を提出した際の記憶です。「あれ？ 作文3枚しか書いてないの？」「え？ だって、『5枚以内で』って決まりだったよね。」「ふつう、『5枚以内で』って言われたら、5枚目まで一行でも書く、っていう意味だよ。」と友人から言われました。先生に確認し、その場合は3枚(3枚目のほぼ最後の行まで埋めていたので)で問題なく、済みましたが、少々寂しい気持ちになったことを思い出します。

「ふつう」って、何だろうと、考えるきっかけになりました。「ふつう」とは、「常識」でしょうか、「平均」なのでしょうか、それとも……。若く若い時代には、よくこの言葉に踊らされ、「ふつう」の魔力にしばられていた時期もありました。

それがあつた時、「ふつう」の言葉を使う際には、必ず何かと比べていることに気がつきました。「ふつう、そういうやり方をしないよね」とか、「ふつう、〇〇を食べる時は、△△をかけるよね」等々、言われても「自分のやり方はこうだから・・・」と返せるようになりました。自分自身がこれでよい、「幸せ」だと思えることを、しっかりと行いさえすれば、人と比べる意味など、少しもありません。考える必要もないことです。「人は人の考え(思い、価値判断、..)があり、自分には自分の考えがある」と考えることの大切さを学びました。

でも、「比べて考えること」には、大切な一面もあります。

教員であつたころ、職務で県北の熊谷へ赴くことがありました。当時は大宮から熊谷まで60分程の時間を要していましたが、今では、普通で38分、快速電車で30分、新幹線ではなんと12分で着いてしまいます。

先日、久しぶりに熊谷に電車で行く用事がありました。快速でしたので、熊谷まであと15分ほどで着く、という辺りで、乗り合わせた学生らしい方が、「熊谷までまだあと15分もかかるんだ。早くつかないかな。」と話している声が聞こえてきました。昔ならまだ30分近くかかる駅付近からだったと思います。心の中で「昔はもっと時間がかかったのですよ。」とお伝えしました。

「時間が長い(短い)」「着くのが早い(遅い)」と考えることは、いろいろな条件や状況がありますから一概には言えませんが、「何と比べるか」で変わってきます。電車の私のように、昔の所要時間と比べたら「短い」のかもしれませんが、学生さんのようにその速さが当たり前になっている方にとっては、「遅い(=長い)」と感ぜられるのだと思います。

このように「視点」を変え「比べて考える」ことで、皆さん自身の世界が、確実に広がっていきます。皆さんの「夏休み期間」には、どのような言葉が付きますか。「あつという間の(=短かった)夏休み」でしょうか、それとも「今日も明日も(=長かった)夏休み」でしょうか。過ぎた時間を思い出しながら、考えてみてください。

本日から学期の中で「一番長い」二学期がはじまります。長い期間には、たくさんの学校行事が行われます。物事は集中して一生懸命に取り組むと、時間はあつという間に感ぜられるものです。約4カ月が「短く」感ぜられるように、何事にも一生懸命、取り組んでください。御家庭・地域の皆様方には、引き続きお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。